

「小中の連携を深めるとともに、

地域の様子や子どもたちの実態を知り、指導に生かしていこう」

I 主題設定の理由

同じ笛川地区で学ぶ児童・生徒をともに教育していくという立場から、児童・生徒の基盤である地域の臨地研修や今日的な課題に迫る学習会、小中学校の授業参観・交流会を計画、実践していく。こうした活動から、教師間の連携を深め、児童・生徒への理解を図るとともに、系統的な教育活動をめざしていきたい。

II 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会

- (1) 日時 7月30日(水) 13:30～
- (2) 場所 牧一小, 牧二小地区
- (3) 目的 地域の歴史や文化, 自然について学び地域を理解するとともに, 今後の学習指導に生かす。
- (4) 内容(臨地研修)
 - 牧一小学区「乙女高原散策」 講師: 植原彰教諭(牧丘第一小学校)
 - 牧二小学区「こんにゃく作り」 講師: 岡久様(地区在住)

2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 11月12日(水) 14:00～
- (2) 場所 笛川中学校
- (3) 目的 中学校の授業を参観し, 生徒の様子を把握する。学習や生活の様子の情報交換を行い, 地域の教育的課題を明らかにし, 今後の教育活動に生かす。
- (4) 内容

【授業参観】

- 1年1組 数学 「比例・反比例(関数について)」 長坂俊彦教諭
- 1年2組 理科 「水溶液について」 中村健太教諭
- 2年1組 数学 「平行と合同」 酒井幸政教諭
- 2年2組 道徳 「きまりを守る」 武藤拓馬教諭
- 3年1組 国語 「古典」 武井善史教諭
- 3年2組 道徳 「自分を見つめよう」 辻由樹教諭

【情報交換会】 授業者より

各校より児童・生徒の学習や生活の様子
小中の連携に関する課題について 等

3 第3回ブロック交流研究会

- (1) 日時 1月21日(水) 14:00～
(2) 場所 牧丘第三小学校
(3) 目的 小学校の授業を参観し、児童の様子を把握する。地域教材を学び、今後の教育活動に生かす。

(4) 内容

【授業参観】

- 2年 生活 「すくすくぐんぐん大きくなったよ」 中村潤子教諭
3年 社会 「さぐってみよう 昔の暮らし」 望月真佐恵教諭
5年 社会 「暮らしを支える情報」 小泉匡之教諭
6年 算数 「1あたりの量」 石原喜久夫教諭

【学習会】

テーマ「地域を学び、実践に生かそう～牧丘町(西保地区)を中心に～」

講師 牧丘郷土資料館長 古明地登吉様(西保中在住)

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ・地域の講師を招いての臨地研修と学習会は、大変参考になった。地域の歴史や文化、自然などに触れる、貴重な機会だった。総合的な学習の時間に生かすこともできた。
- ・小中でお互いの授業を参観できたことは、大変良かった。中学校の授業では、生徒たちが真剣に学習している様子や、各教科担当が工夫して指導していることを知ることができた。小学校の授業では、ブロック内に小規模校が複数あるので、少人数学級ならではの工夫を参考にすることができた。中学校から見ると、来年度以降進学してくる子どもたちの様子を把握できた。
- ・小中の情報交換を行い、小中連携のために今後取り組んでいかなければならないことを確認し合うことができた。

2 課題

- ・少人数の授業での課題を解決することを目指して、いかに笛川中ブロックの小学校での交流授業、活動を組み立てていくか。
- ・小中の情報交換においては、話し合う柱のようなものがあると、情報交換や話し合いがしやすいのではないかと感じた。
- ・年3回の出張となるので、忙しい時期が重なると負担に思うことがある。時期や回数など検討が必要だと思う。
- ・統合の方向が具体的に決まったら、それに合わせてブロック研を「準備」のような機会にできないか。

(ブロック長 竹川 美和)